三隅

昭和47年
6月30日
121号

発行所
三隅町広報委員会
発行者　森沢雄治
編集人　斉藤元宣

人口のうごき
5月31日現在

世帯数		1,882戸
人口	男	3,555人
	女	3,965
	計	7,520

新しい農業の方向

現在の稲作生産が一貫機械化の体系をとるならば一〇アール当りの所要労力は五人役であり、大型機械の導入はどコスト安となる。

農業振興地域計画の必要性については先弟で述べたが、なかんづく将来の稲作の生産をどうするかが課題の一つである。

兼業化が進むにつれ機械化は促進されるが過剰投資となり所得を得る生産手段からかけ離れてしまう現状である。そこでこれら問題点を解決するべく新しい農業生産の仕組を求めて福井県鯖江農協坂井農協、愛知県高岡農協を、視察調査した。（調査者役場から滝口課長、中野係長、農協山県課長、普及所能野技師）

視察のポイントを現在の高水準の機械化一貫作業体系を活用し得る①農協の取り組み組織体制③農家の背景（生活生産環境等）ないしは事業の受けとめ④すすめるリーダーやオペレーター（機械運転者）確保④受託農地の集団化と圃場整備をおいた。

鯖江市農協では農家は平均六反位で第2種兼業的要素の強い市であるため全面作業受託に方向を定めていると云うのは兼業収入の多いところで、農家の要望も強いこともあるがとかく農民は農協から離れがちでありその歯止めとしてこの受託経営を通じそのきづなをつなぎとめようとし、又農家には兼業で金もうけさせ農業生産は農協で面倒見るべきが農協の本質だとしているしたがつてオペレーターは農協が基本給二万円、一日千円の報酬を出しているがオペレーターが意欲的に取組みが出来るよう一〇アール当り受託料三俵とし努力の結果余剰金が出た場合は配当する等農家に自主性が生まれるよう配慮している。一方坂井農協は一戸耕作面積一・四haの純農村地域で圃場整備もほとんどされ生産体制はかなりよい様に察した。しかし近年兼業は一段と進みつつあり講負耕作が増加しつつある。

ここでは全面的ではなく主として作業を部分的に委託し、それは部落集団の生産組織のオペレーターグループである

ここでは生産集団がかなりしつかりしているが、これは農家の耕作規模が大きい専業農家が多いからと思われる。機械は農協有部落有と半々を利用しているが、受託料及び利用料を定めその範囲内で運営している。オペレーターの活動指示は農協の受託計画に添つて行われるようになつている（参考受託料耕うん整地三八〇〇円、育苗六〇〇〇円田植二〇〇〇円収穫七五〇〇円乾燥調整四〇〇〇円、全面信託三四〇〇〇円）なおオペレーター等の中核農家の育成に当つては特にそう云う農家が年間を通じ所得源を得るよう育苗施設の管理収穫時のライスセンターの作業を請負わせる等配慮している。

愛知県高岡農協　ここは自動車の製造元豊田市の中ですべて労働力は工業部門への提供である。しかしその中で起きている現実はさまざまである。農地の値上りが進む中で農業のみに取り組むもの、仕方なく維持のため耕作する者放任される者、こうした事態に農協は何をなすべきかの観点に立つて受託事業を始めたと云う。ここではあくまでも農業に定着する農民を農協の母体のように大切にし育成につとめている。従つて機械は農協が保有しオペレーターに貸付し受託料から減価償却する型態をとつている。受託のとりまとめは農協が行うが作業は自主的に運営している。

巨星おつ、突然の訃報を新聞で見て葬儀に参加した（六月八日、東京新宿宝祥寺）、日本学術会議と日本宗教学会に属する大部分の学者、教授と東大、東北大、慶大、駒大等の門下生が参列され、大暴風雨の中であつたが、告別式をふくめ数百の人がお別れに集つた（交通整理警官四名で車等の整理に当つていた）

弔辞を見ると日本学術会議代表、日本宗教学会代表、国際史学会代表、駒沢大学仏教学部長、東北大総長、慶応大学大学院、社会学研究科委員長、東北大文学部長、東北大

賢先の郷土26

石津照璽（中畑）

先生の期待を一身に集めて文学博士となり、東北大学教授を経て文学部より始めて東北大学総長となり、次で慶応大学大学院教授、駒沢大学仏教学部教授を現任中であつた、又日本学術会議会長、日本宗教学会会長として、その声名は世界に

印渡哲学宗教学会会長、門下生代表と続いた、弔電も総理大臣、文化庁長官、文部大臣を始め六八〇通に及んだ。

△

明治三十六年二月二十六日生れ、東京帝国大学文学部宗教学科を卒業、姉崎正治

喧伝されていた。

△

三隅出身の文化人の「訓え」を成人者に記念品として配布しようとの議が起り、先生と伊木寿一氏に依頼した。

間もなく

但能相続　名主中主

せんこうみつようはぐのごとくろのごとし、ただよくそうぞくするをしちゆうのしゆとなずく　（洞山悟本禅師の宝鏡三昧より引用された愛用の句）

じつとひつそり努力しておろかなようにみえてもよい、よくやりつづけることが一番大切である。

味い深い句を送られ、三隅の後輩の奮起をしようようされた。

（斉藤元宣）

人づくりは町づくり

学制一〇〇年以前の三隅教育は

前号で尊聖堂、福井塾について述べたが、これからしても当時は私塾・家塾・手習場寺小屋などとうたわれていたが、その中には一代のせき学によつて経営され、尊敬すべき偉大な人格、卓越した学問の権威において教授され、習う者も自ら求めて止まぬ学徒であつたので、その感化影響も非常に大きいものであり、従つてその門下からは数多くの人材が輩出し、次代に大きな功績を残している。このことを考えると、小さな一私塾であつても、誠に尊ぶべき、『当時の人づくり』に敬意を表すべきである。

◆向山塾（慶応（一八六七）―明治（一八七二）は野波瀬口向山部落にあつた。

毛利氏の重臣児玉小民部親臣の給領下で、豊原の住人の大庄屋磯部吉蔵の持地を借り上げて建てられていた、児玉親臣は四境戦争に従軍の後、静かに将来の時勢を達現し今後の日本に最も要するものは人であり、よき人材を輩出させる為にはよき学び舎と指導者が必要であると萩の士、山本清十郎を迎えて塾頭として開いたのである、漢学の外に習字と簡単な算術を教え、また児玉親臣は兵式教練をも教えたといわれている、生徒数は一時五〇人―六〇人と数え町外からも数名、先生には塾頭外に馬島春海、槇沢因蔵、石川重玄などがあたり、全く師弟一体となつて勉学に精励し短期間に意外と多くの有名人を輩出した。

〔門下生の中には〕

◉柴田家門　文部大臣
◉石部六郎　岡山県令
◉山中信義　陸軍中将　貴族院議員
◉原田良太郎　〃少将（騎兵監）憲兵司令官
◉磯部孝一　衆議院議員
◉落合泰蔵　陸軍軍医総監（日赤社理事）

などが有名である。この辺からしても本町の教育に対する識者の態度が遠く明治維新以前から胚胎しかつ旺盛であつたことを示し、ひいてこの風が次の郷学にも更に学制発布当時に於ける本町教育にも大きく影響していることも知ることが出来る。

（教育長　三原祥祐）

税の相談はお気軽に

土地を売ったら税金はどれだけかかるか、家を建てたときの税金はどうなる、贈与税の計算は―こうした税金についての相談なら、長門税務署の「税の相談日」をお気軽にご利用ください。

〔税の相談日は、毎月五、一五、二五日（この日が日曜祝日なら翌日）です。住所や名前も言わないで自由に相談できます。むろん無料です。

税金には、きめられた手続きをすることによつて、有利になる特例がたくさんあります。とくに、土地や家屋に関する税金の場合がそうです。税の相談日には、こうした点を税務署の幹部がすすんでお知らせしています。

◎七月は固定資産税第二期分の納期です。納期内に納めましょう。

こうした地域での農業を担当させられた場合の問題点として村の雑役までかぶせられ、グループが崩壊する危険性があるとしている。以上純農村地帯、兼業地帯、高度都市化地帯と代表的地域における新しい農業生産の方向を検討した訳だが、それぞれの農家及び農協、行政が協力し本町でのあるべき姿を見出すことが肝要である。

【説明】上　役場前の駐車場
下　宗頭文化センター、幼稚園の駐車場

明るく正しい選挙を

七月十四日は農業委員会の委員の選挙の日です。農家にとつては大切な仕事をする農業委員会です。立派な選挙で立派な委員を選びましょう

・告示　七月七日
・選挙権　毎年一月一日現在にて調製された選挙人名簿に登録されているもの（但し失格者を除く）
・投票所自午前七時至午後六時
場所　九ヶ所（従来通り）
・開票　即日開票
七月十四日午後七時
・候補者の届出　七月七日～七月八日
届出の書類は町選管において準備してありますのでご利用下さい
・不在者投票　七月七日～七月十三日（毎日午前八時三十分から午後五時まで）
・この選挙は公選法公選令のうち議会議員の選挙に関する部分がほとんど準用されます。

★自衛官募集

一、陸、海、空自衛官を募集
二、応募資格　18～25才未満（高校生は昭和48年3月卒業見込）
三、初任給　三万円
四、国家免許技術習得が可能
五、詳しくは町役場総務課
電話　三～〇二二一へ

社会体育行事予定

七月上旬
スポーツ少年団指導者会議
・下旬
夏季休暇ラジオ体操（八月末）
八月上旬
スポーツ少年団野外活動（キャンプ大会）
子供会球技大会
幼稚園児水泳教室
・中旬
中・高校生球技大会
スポーツ少年団中国大会
町内野球大会
郡子供会球技大会
・下旬
町内盆踊大会
町内水泳大会（記録会）
文化センター　宿泊研修
七・三～二四　中学校町外宿泊研修大会
八・四、五　郡青少年赤十字団研修

夜明け

農業振興の意向調査

町における農業振興の計画はおおむね十年を目途に
①土地利用計画
②土地保有計画
③基盤の整備計画
④近代化施設計画
を策定することです。町段階でアンケート調査を実施しその結果をお知らせします。なお調査票は一戸一部配付しましたが、その中五六九戸の回答を受けました

（注）野波瀬部落は未回答）

一、土地利用に関する意向

（一）あなたの農地をどのように利用するか（一〇年間）

①農道や畜舎等農業用施設につぶす　一〇、三ha　②宅地転用や荒廃する一九、四ha

（二）山林原野を開発して農用地に利用したい一二、五ha

（三）十年後の農用地の利用面積は（単位ha）

水田一九四、畑一三、果樹園二九、採草地三、その他一一三、計三五二、わからない二四八

二、農業経営の方向

家族と農業従事者の見とおし　①家族人員は、現在二、六四八人だが十年後は一、六七四人となる　農業従事者は現在一、七六二人が将来九一三人となる。

②後継者（単位は戸数）

現在後継はいる一四一、決っているが就業していない一二〇、後継に意志がない三六、自分の代限りでやめる二八、わからない二一五、未回答二九

③今後どのような経営をやりたいか

農業だけの経営六八、農業が主な兼業経営一五四、兼業が主な農業経営二四三、農業をやめる二四、回答なし八〇

④あなたの部落や地区で重点的にとり上げ振興したい作目

稲作と回答したもの　五八、牛　二八、果樹　二四、施設園芸　十二、ブロイラー　七養豚　七戸

⑤機械により作業のやり方を考え直してみませんか。

変えたい一六五、変えたくない一六二、変えたいと回答したもので協業経営でやりたい三三、機械共同利用六一、農業等の信託事業希望五五、その他一六

又変えたくないものは過剰投資となつても自分で作るが六一、その他八七

三、今後産地化や経営拡大にどのような作目をとり入れて行きたいか。

専問経営を営みたい　二二二

内訳は　米一八六、肉牛一〇煙草六、鶏五、柑橘四、酪農三、施設園芸三、豚二、露地野菜二、花キ一　米＋の複合経営を図りたい三二四

内訳は　米＋肉牛五〇、＋煙草三〇、＋柑橘二九、＋露地野菜三一、＋果樹二五、＋施設園芸二二、＋鶏一五、＋花キ一三、＋豚六、＋酪農五、＋林業五、その他十二

四、経営面積の動向

買いたい七九、借り受けたい三三、開発してほしい二六、ゆずり渡してもよい七、貸付してもよい五四、わからない一九五

五、地区での土地基盤整備事業の希望　四一一

回答は農道整備一三二、用水改良八三、排水改良四〇、客土三〇、交換分合二七、農地造成五、草地造成五、事業に希望しない三二

六、地区での近代化施設の事業希望　一八四

内訳は一位ライスセンター三八戸、農業機械管理施設三三育苗施設二九、加工施設十九集荷所一八、その他

清風句会

累代の墓に風蝕つつじ映ゆ　元

阿武川の水清くして鮎の宿　照枝

故郷の水清ければ鮎はねる　蓮水

いたましきニュース相次ぎ梅雨くらし　一平

大寺の縁の高さよ蟻地獄　免史

住み古りぬ郭公の鳴く山里に　梨花

鮎料理授賞の宴の末席に　みつえ

梅雨晴間大寺の庫裡謡会　さつき

大照院ぬれ縁高し蟻地獄　九重

手ずくねの絵具の菖蒲藍の濃し　翁

まねかれて父の日句座の客となり　旬一

悔まれつ替着忘れし梅雨の宿　鈴

梅雨じめりして心憂し旅衣　千代

選者　雲仙

寺薄暑大照院の謡会

帰省して叙勲祝に子等つどう

道薄暑由緒の旧居見つからず

到来の批把は茂木にはあらねども

次は七月二十九日（土）です。句をお送り下さい。

警察官募集

詳細は警察署又は総務課へ問合せて下さい

夏季休業中の生活心得

家庭生活

①外出―〇外出先、帰宅予定時刻、同伴者、用件を家人に知らせておく

〇夜間外出は、六時の「お帰りサイレン」で一応帰宅し、それ以後の外出は八時までとする

校外生活

①遊び―火薬遊び、打上げ花火、危険な遊びをしない

②外泊―生徒どうしの外泊、旅行、遠出は禁止する

③誘かい―見知らぬ人の車に便乗したり、高校生のさそいをうけ車に便乗しないこと。性的被害防止に注意すること

④映画等―映画や劇等の興行は学校の許可したものの時刻、同伴者、用件を家人に知らせておく

余暇善用

①交友関係―〇男女の一対一の交際は厳禁

〇暴力をふるうことはいけないが暴力行為をうけたら連絡する

②クラブ活動―積極的な活動をする。六時には一斉に終了し、六時三〇分下校する

健康安全

①交通事故防止―交通規則を守り、単車、カブを運転しない

②水泳―水泳心得をよく守り水難事故をおこさないこと

③病気予防―規則正しい生活をし、暴飲暴食、寝冷えに留意する

④身体異常―むし歯、眼病、その他身体疾患はこの期間に完治しておこう

学習

①午前中は外出しないで、学習をする。毎日三時間の学習が必要

②不得意教科の征服、能力にあつた研究、読書等を計画にとり入れよう

③一人一研究を推進しよう

その他

①夏休み生活目標をたて、生活時程表をつくり、くいのない夏休みをすごそう

◎勲記勲章

勲五等瑞宝章　香月斌

勲七等瑞宝章　故杉原政信

勲八等瑞宝章　堀光太郎

勲六等瑞宝章　故豊田宗夫

勲八等端宝章　故仲居一

◎表彰

全国地区衛生組織連合会長表彰　田村良弐

山口県知事感謝状授与　元国保運営協議会委員　白藤薫

山口県知事感謝状授与国民年金優良民間地区組織

小島部落代表　沖村重誓

◎善意

二〇〇〇〇円夫岡村源一死亡

豊原　岡村寿美子

一五〇〇〇円父河村新右ェ門死亡　中村　河村万次

三〇〇〇〇円夫宮本政男死亡

野波瀬　宮本ヨシエ

◎人権擁護委員の委託

人権擁護委員法第一一条により山口地方法務局より、青山常次氏が委嘱された。

◎寿大学互助会

三〇〇〇円　故河村新右ェ門

五〇〇〇円　故島尾ミヨ

二〇〇〇円　故西村四郎

一〇〇〇〇円　故安富マツ

七〇〇〇円　木藤孫輔

一〇〇〇〇円　狩谷ハナ

お知らせ

◎電話架設の申込

債券の引受額が一部変わりました、

単独電話　取付費　五万円

債券額　一〇万円

二共同電話　取付費　三万円

債券額　三万円

その他加入料　三〇〇円

◎あぶない置石

子供さんが戸外で遊ぶ季節です，線路附近で遊んでレールに置石をしたり木片を置いたり、列車に投石する等のいたずらが増加しています。このように線路附近で遊んだり線路を通つたりいたずらをしないよう御指導を願います

◎印鑑登録替え

町印鑑条例が改正され、八月一日から印鑑証明の方法がいままでとかわり「印鑑登録票」を複写して、印鑑登録証明書を発行することになります。このため現在町役場に登録されている印鑑は八月一日から九月三十日までに登録替えをしていただくことになります。

◎婦人会

藤村ツタエ

四十七年度会員一三七二名経済社会が過速度的な発展を続ける今日、社会の変貌に対応し得る能力をもち、さらに積極的に社会の進展に寄与し得る婦人になるよう学習しこれが婦人会活動の軸となり地域社会の向上に貢献することを目的とします。

婦人会には次の通り衣裳の貸し出しを行つて居ります。

御利用下さい。

花嫁用打掛け

留袖三十才前後　一〇〇〇円

〃五十才前後　一〇〇〇円

〃七十才前後　一〇〇〇円

丸帯若向き　五〇〇円

中年向き　五〇〇円

年寄向き　五〇〇円

モーニング大小（共）

一〇〇〇円

喪服セット（草履ハンドバック付）　一〇〇〇円

以上の品は公民館に置いてありますのでその方へお問合せ下さい。

行事メモ

7月上旬

2日　湯免温泉まつり

4～5　社会教育委員視察

- 昭和47年度公営住宅建築入札、着工
- 青少年健全育成会議

7月中旬

- 身障者並びに老人実態調査
- 老人健康診査（一般診査）
- 民生児童委員会
- 教頭主事会　校長館長会
- ねたきり老人訪問診査

8月上旬

- 印鑑登録切替事務開始
- 無像仏供養
- 社協みすみ発行

8月中旬

- 全国戦没者追悼式

8月下旬

- 老人健康診査（精密診査）
- 民生委員会

◎自然に親しむ運動

最近の社会経済の急激な発展と、著しい工業社会化等の情勢にともない、生活基盤である自然環境の損壊はひどく社会的に問題となつています

このため自然環境に親しみ、心身の健康の増進をはかるとともに自然保護の精神を高める運動を七月二一日から八月二〇日まで環境庁主唱で実施されますのでご協力下さい。

標語並びにシンボールマークの募集も行なわれていますご応募下さい。詳細は総務課へ問合せ下さい。

悲喜交々

出生

昭和四十七年四月十一日から昭和四十七年六月十五日迄

沢江　村田尚美　正行

小島　宇野絹代　秀平

浅田　山村光弘　栄

野波瀬　高野紀恵　繁生

浅田　六藤和成　栄侍

浅田　海田孝明　武司

浅田　杉原慎一　一雄

豊原　河田圭司　武志

野波瀬　岡崎真弓　明

浅田　岡村英美　正則

滝坂　粟畑貞宣　一雄

市　高山博史　成人

死亡

昭和四十七年四月十一日から昭和四十七年六月十五日迄

小島　嶋尾ミヨ　七四才

豊原　原川フサ　七八

東方　西村四郎　七七

野波瀬　角村誠治　六五

下中小野　須山キヨ　七六

下中小野　安富マツ　八八

下中小野　石川栄人　七〇

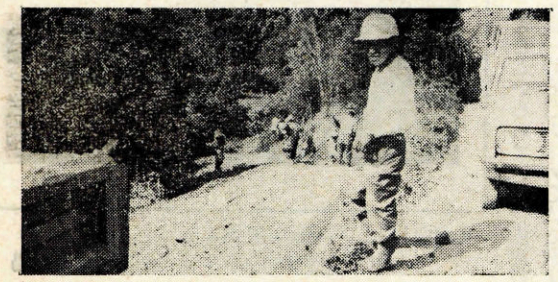
沢江　前田与吉　八五

中村　岡野桝市　八二

小島　伊藤良範　四八

中村　木原トキ　七八

中村　松田繁三　六一



夏柑再開発

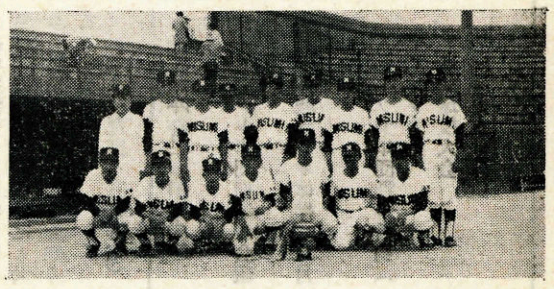
小島地区は、夏柑園の再開発事業を実施した。改植面積 4,2haで内八朔を1,889本、新甘夏2,045本を植栽し総延長 2,812mの道路を開設整備した。改植費用1385,000円、園地整備費10.549,000円、総事業費11,934,000円で出来上った

中学野球部優勝

5月27、28日の両日、宇部市で山口県中学校西部春季体育大会が行われ、三隅中野球部が、長門大津地区中学校代表として出場したその戦績は　27日　三隅中4－2常盤中　三隅中6－0彦島中

28日準決勝　三隅中5－1安岡

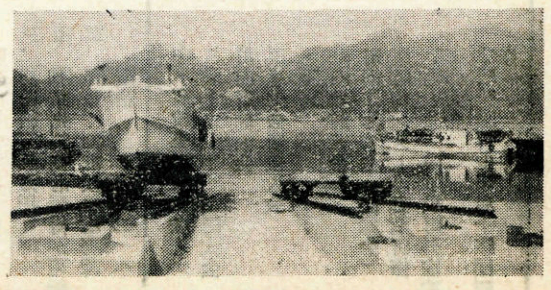
決勝　三隅中9－1神原中



ソレケイ・フントナ

給食センターへ実習生

萩女子短大食物栄養専攻の学生6名が栄養士資格取得のため給食センターにて、学校給食、保育所給食についての献立作製、栄養価算定及び調理方法について実習を行なった。中学へも2名、幼稚園に3名実習生が来隅した。

漁船上架施設

野波瀬地区漁民待望の漁船上架施設が完成した。この施設は46年度の第2次沿岸漁業構造改善事業として行なったもので総事業費6,375,000円（補助金5,024,500円、自己資金 1,350,500円）で漁業生産性の一層の向上が期待される。